

宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議

(令和3年度第2回本会議) 議事概要

【日時】 令和4年3月18日(金)

【開催方法】 書面開催

【出席者】 別添委員名簿のとおり

【議事内容】

○ 地域医療構想にかかる国の動きや外来機能報告等について、書面で説明を行った。

○ 書面協議結果

1 地域医療構想に係る国の動きについて

地域医療構想にかかる国の動きや公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等及び外来機能報告等について、書面で説明を行った。

(主な意見・質問等)

○ 次期医療計画に新たに記載される「新興感染症対策」の具体的な内容が見えてこなければ、各病院も方向性を検討できないのではないかと。

→ 国は、2022年度及び2023年度において、次期医療計画の検討作業と併せて、2025プランの検証・見直しを行うよう要請しており、医療計画の検討状況について、当会議でも情報共有していく。

○ 医療資源を重点的に利用する外来を地域で基幹的に担う医療機関を検討する際、外来機能報告の評価は、外来診療全般を広く対象にするのか。特定分野に優れた機能を持つなど、各病院で得意分野が異なるため、多様な視点で評価するべき。

→ 「医療資源を重点的に利用する外来」は、「医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来」など、3つの機能いずれかを有する医療機関としており、地域の実情を踏まえる観点から、県の公表に当たっては地域の協議の場での協議を経ることとしている。

なお、地域の協議の場については、当会議を想定している。

2 令和2年度病床機能報告結果について

各医療機関における病床機能報告結果について、書面で説明を行った。

(主な意見・質問等)

○ 回復期への病床機能の見直しが進む一方で、診療報酬の次期改定では、地域包括ケア病棟の算定要件が一層厳しくなり、様々な点で病院側の負担は大きくなると聞いている。特に慢性期から回復期への転換については負担感は大きいと考えられ、地域医療構想推進の支障にならないか懸念している。

→ 毎年の立入調査等、様々な場面を捉えて医療機関の状況把握に努めるとともに、引き続き、病床機能報告を詳細に分析することにより、各医療機関の動向を注視していく。

3 基金、国庫補助金、繰入金の状況について

基金事業・国庫補助事業に係る補助実績や繰入金の状況について、書面で説明を行った。

(主な意見・質問等)

○ 公立病院の繰入金の状況は注視している。経営改善に向けては、地域における医療機能の分化・連携は不可欠であるが、特に公立病院の場合は行政の大きな判断を要するため、現場に携わる者としても、開設者と問題意識を共有するよう努める。

4 その他報告事項

報告1により委員の就・退任について、報告2により山口県外来医療計画に基づく外来機能報告及び医療機器の共同利用計画の提出状況について、書面で報告を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし